株主のみなさまへ

代表取締役会長　石田（いしだ）　雅昭（まさあき）　　代表取締役 執行役員社長　荒田（あらた）　知（さとし）

株主のみなさまには平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

2023年度第2四半期累計期間（2023年4月～9月）の事業環境といたしましては、社会のデジタル化や脱炭素化を背景にエレクトロニクスや自動車関連の投資が堅調に推移し、主に高速大容量通信などのIoT分野や世界的な電気自動車(EV)シフトによる需要が継続いたしました。生産面におきましては、部品の調達状況が改善し、積み上がった受注残高の消化および製品リードタイムの正常化に向けて生産対応を強化いたしました。

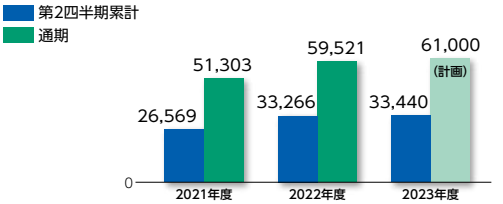
経営成績といたしましては、受注高は特にEV・バッテリー分野がけん引し高水準を維持することができ、過去最高となりました。売上高は、生産対応の強化により前年同期比で18.8%増加し過去最高となりました。エリアでは、日本、北米、欧州を中心に売上高が増加し、海外売上高比率は58.9%（前年

同期比1.1pt増）となりました。利益面につきましては、販管費が増加いたしましたが、主に増収により営業利益は前年同期比で67.2%増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は68.1%増加し、いずれも過去最高となりました。

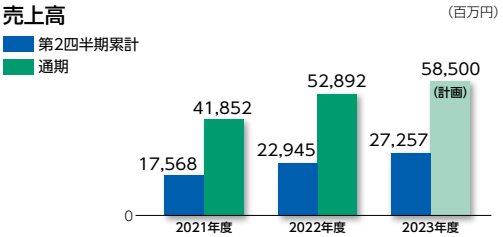
2023年度通期計画につきましては、期初予想を上回る見込みとなり、10月27日に上方修正を行いました。受注高は引き続き堅調に推移すると見ており、610億円と前年度並みを予想しております。また、売上高は585億円（前年度比10.6%増）、営業利益は55億円（同26.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は40億円（同20.1%増）を計画しております。IoTやEVといった先端技術分野のニーズにお応えする製品・サービスの拡充により、受注を獲得してまいります。また、さらなる生産対応の強化により製品リードタイムの正常化に努め、収益性の向上に取り組んでまいります。なお、配当金につきましては1株当たり年間70円から変更しておりません。

株主のみなさまにおかれましては、一層のご支援を賜りますよう心からお願い申しあげます。

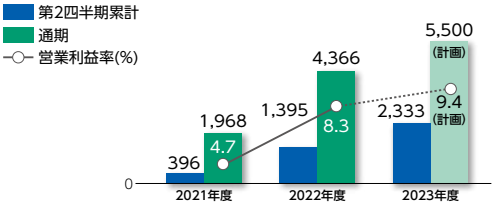
受注高



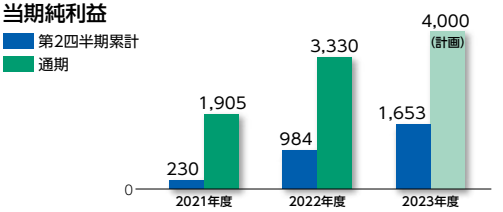
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり配当金

	2021年度	2022年度※	2023年度
中間	18円	24円	25円
期末	42円	45円	45円（計画）
合計	60円	69円	70円（計画）
配当性向	70.7%	45.9%	38.2%（計画）

※ 創業75周年の記念配当4円（中間2円、期末2円）を含む